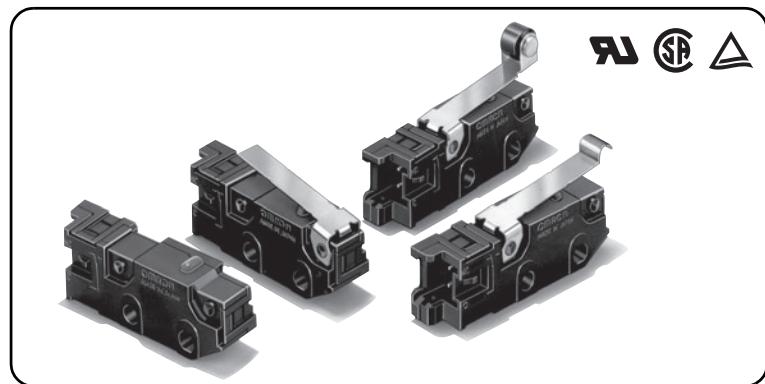


圧着コネクタ用端子で省配線、省工数化に貢献

- 圧着コネクタにより省配線化が可能。
端子も横引き出しによる省スペース化を実現。
- アクチュエータは2方向の取りつけを用意。
スイッチの取りつけ自由度が拡大。
- 形SS超小形基本スイッチと取りつけピッチが同一。

RoHS適合

D
3
M

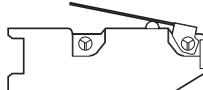
■形式基準

形D3M-01 ① ② ③

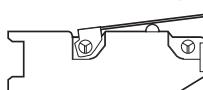
①レバー取りつけ位置

無表示：レバーなし

K：押ボタンを基準に近い位置



L：押ボタンを基準に遠い位置



②アクチュエータ

無表示：ピン押ボタン形

1：ヒンジ・レバー形

2：ヒンジ・ローラ・レバー形

3：ヒンジ・アール・レバー形

③接触仕様

無表示：1b(常閉形)(押ボタン色：赤)

-3：1a(常開形)(押ボタン色：黒)

■種類 (◎印の機種は標準在庫機種です。無印(受注生産機種)の 納期についてはお取引き商社にお問い合わせください。)

アクチュエータ	レバーの取りつけ位置	接触仕様	形式
ピン 押ボタン形	—	1b	形D3M-01
		1a	形D3M-01-3
ヒンジ・ レバー形	K	1b	形D3M-01K1
		1a	形D3M-01K1-3
ヒンジ・ ローラ・ レバー形	L	1b	形D3M-01L1
		1a	形D3M-01L1-3
ヒンジ・ ローラ・ レバー形	K	1b	形D3M-01K2
		1a	形D3M-01K2-3
ヒンジ・ アール・ レバー形	L	1b	形D3M-01L2
		1a	形D3M-01L2-3
ヒンジ・ アール・ レバー形	K	1b	形D3M-01K3
		1a	形D3M-01K3-3
	L	1b	◎形D3M-01L3
		1a	形D3M-01L3-3

■接点仕様

接点	仕様	クロスバー
	材質	金合金
	間隔(基準値)	0.5mm
突入電流		最大1A
最小適用負荷(参考値) *		DC5V 1mA

* 最小適用負荷については、「■正しくお使いください」の
「●微小負荷形での使用について」をご参照ください。

■定格

定格電圧	抵抗負荷
DC30V	0.1A

注：上記定格は、以下の条件で試験を行った場合です。

- (1) 周囲温度：20±2°C
- (2) 周囲湿度：65±5%RH
- (3) 操作ひん度：30回/min

■安全規格認証定格

UL(UL1054)/CSA(CSA C22.2 No.55)

定格電圧	形式	形D3M
DC30V		0.1A

TÜV(EN61058-1)

定格電圧	形式	形D3M
DC30V		0.1A

試験条件：1E5 (100,000回) T55 (0~+55°C)

■性能

許容操作速度	0.1mm～1m/s(ピン押ボタン形の場合)
許容操作 ひん度	機械的 400回/min 電気的 60回/min
絶縁抵抗	100MΩ以上(DC500V絶縁抵抗計にて)
接触抵抗(初期値) *1	100mΩ以下
耐電圧	同極端子間 AC1,000V 50/60Hz 1min 充電金属部とアース間 AC1,500V 50/60Hz 1min 各端子と非充電金属部間 AC1,500V 50/60Hz 1min
振動 *2	誤動作 周波数10～55Hz 複振幅1.5mm
衝撃 *2	耐久 最大1,000m/s ² 誤動作 最大300m/s ²
耐久性	機械的 50万回以上(60回/min) *3 電気的 20万回以上(30回/min)
保護構造	IEC IP40
使用温度範囲	-25～+85°C 60%RH以下 (ただし、氷結、結露しないこと)
使用湿度範囲	80%RH以下(+5～+35°Cにて)
質量	約2g(ピン押ボタン形の場合)

注. 上記は初期における値です。

*1. コネクタとリード線(AWG#28 長さ50mm)の抵抗を含む値です。

*2. ピン押ボタン形では自由位置と動作限度位置、レバー形の場合は動作限度位置での値です。
接点の閉路または開路は1ms以内です。

*3. 試験条件についてはお問い合わせください。

■取りつけ穴加工寸法 (単位:mm)

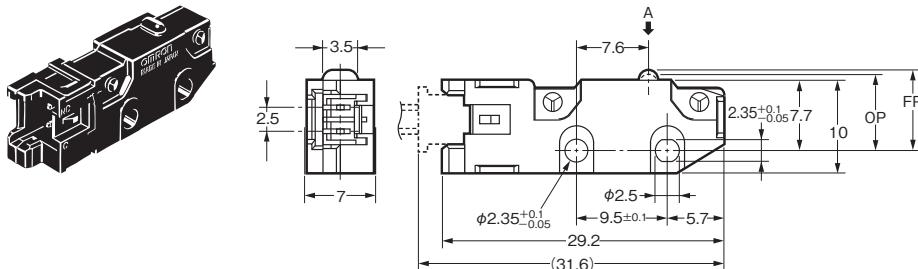
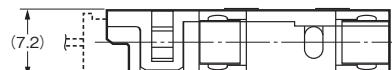


■外形寸法 (単位:mm) / 動作特性

●ピン押ボタン形

形D3M-01

形D3M-01-3



動作特性	形式	形D3M-01 形D3M-01-3
動作に必要な力 もどりの力	OF 最大 RF 最小	1.50N 0.25N
動作までの動き	PT 最大	0.6mm
動作後の動き	OT 最小	0.4mm
応差の動き	MD 最大	0.1mm
動作位置	OP	8.4 ± 0.3mm

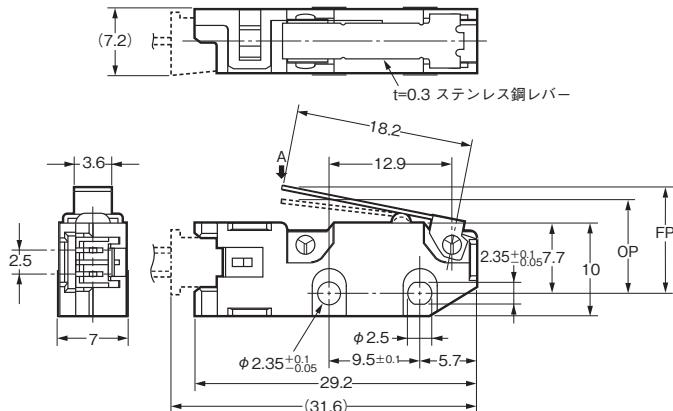
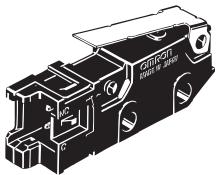
注1. 上記、外形寸法図中、指定のない部分の寸法公差は±0.4mmです。

注2. 動作特性は、A方向(↓)に動作した場合です。

注3. 配線は日本圧着端子社製XAコネクタ2極タイプをご使用ください。

●ヒンジ・レバー形(K)

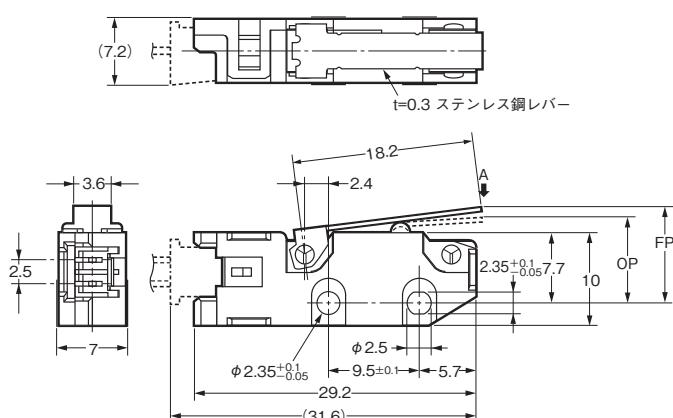
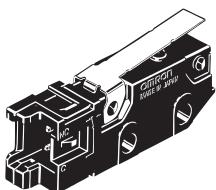
形D3M-01K1
形D3M-01K1-3



動作特性	形式	形D3M-01K1 形D3M-01K1-3
動作に必要な力 もどりの力	OF RF	最大 最小 0.50N 0.06N
動作後の動き 応差の動き	OT MD	最小 最大 1.2mm 0.8mm
自由位置	FP	最大 14.0mm
動作位置	OP	$10.0 \pm 0.8\text{mm}$

●ヒンジ・レバー形(L)

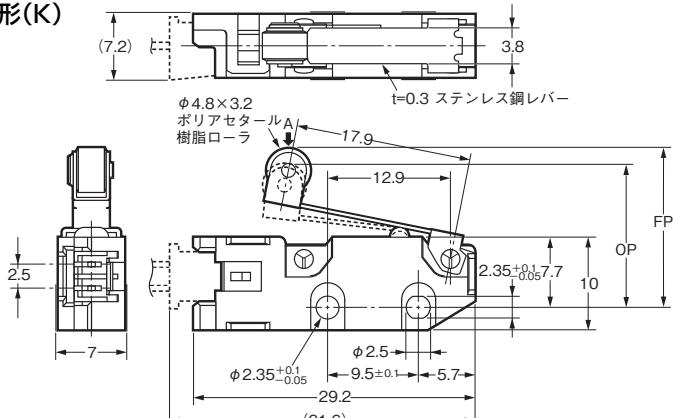
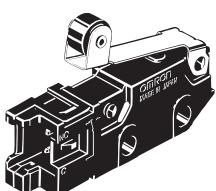
形D3M-01L1
形D3M-01L1-3



動作特性	形式	形D3M-01L1 形D3M-01L1-3
動作に必要な力 もどりの力	OF RF	最大 最小 1.00N 0.10N
動作後の動き 応差の動き	OT MD	最小 最大 0.7mm 0.6mm
自由位置 動作位置	FP OP	最大 9.2±0.6mm 11.5mm

●ヒンジ・ローラ・レバー形(K)

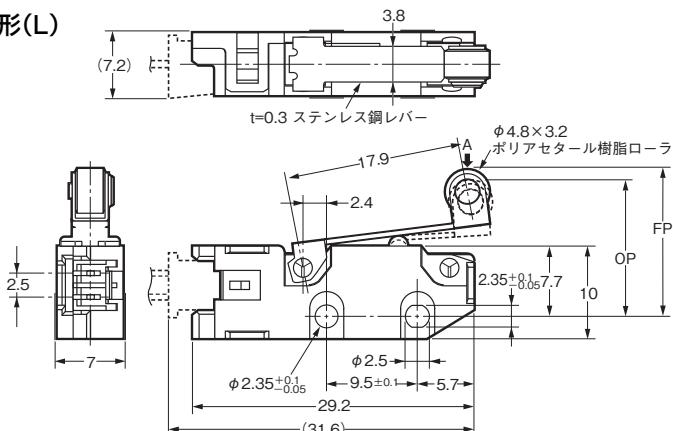
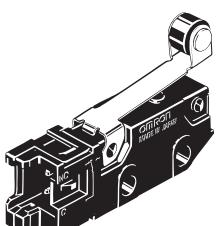
形D3M-01K2
形D3M-01K2-3



動作特性	形式	形D3M-01K2 形D3M-01K2-3
動作に必要な力 もどりの力	OF RF	最大 最小 0.50N 0.06N
動作後の動き 応差の動き	OT MD	最小 最大 1.2mm 0.8mm
自由位置 動作位置	FP OP	最大 19.7mm 15.7 ± 0.8mm

●ヒンジ・ローラ・レバー形(L)

形D3M-01L2
形D3M-01L2-3



動作特性	形式	形D3M-01L2 形D3M-01L2-3
動作に必要な力 もどりの力	OF RF	最大 最小 1.00N 0.10N
動作後の動き 応差の動き	OT MD	最小 最大 0.7mm 0.6mm
自由位置 動作位置	FP CP	最大 17.2mm 14.9 + 0.6mm

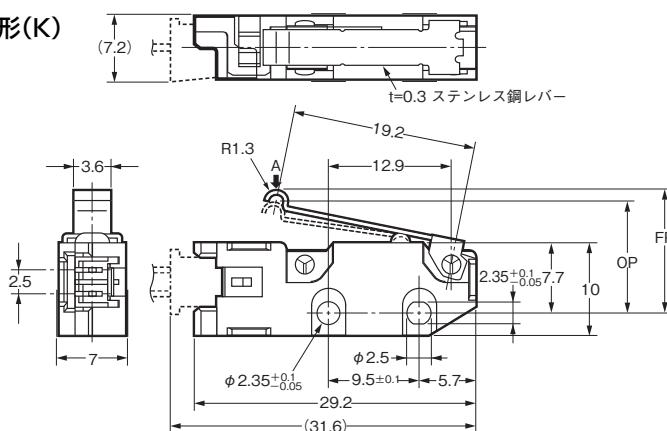
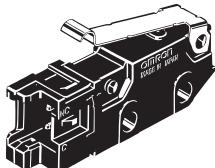
注1. 上記、外形寸法図中、指定のない部分の寸法公差は $\pm 0.4\text{mm}$ です。
注2. 動作特性は、A方向(↓)に動作した場合です。

注3. 配線は日本圧着端子社製XAコネクタ2極タイプをご使用ください。

●ヒンジ・アール・レバー形(K)

形D3M-01K3

形D3M-01K3-3

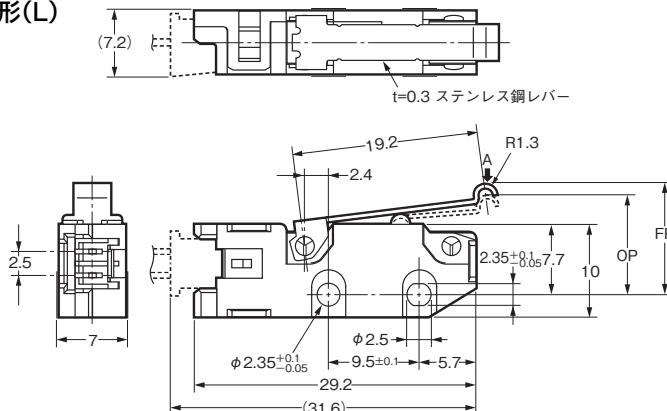
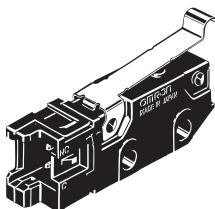


動作特性	形式	形D3M-01K3 形D3M-01K3-3
動作に必要な力 OF 最大 もどりの力 RF 最小	0.50N 0.06N	
動作後の動き OT 最小 応差の動き MD 最大	1.2mm 0.8mm	
自由位置 FP 最大	16.2mm	
動作位置 OP	12.2 ± 0.8mm	

●ヒンジ・アール・レバー形(L)

形D3M-01L3

形D3M-01L3-3



動作特性	形式	形D3M-01L3 形D3M-01L3-3
動作に必要な力 OF 最大 もどりの力 RF 最小	1.00N 0.10N	
動作後の動き OT 最小 応差の動き MD 最大	0.7mm 0.6mm	
自由位置 FP 最大	13.6mm	
動作位置 OP	11.3 ± 0.6mm	

注1. 上記、外形寸法図中、指定のない部分の寸法公差は±0.4mmです。

注2. 動作特性は、A方向(↓)に動作した場合です。

注3. 配線は日本圧着端子社製XAコネクタ2極タイプをご使用ください。

■正しくお使いください

★必ず「共通の注意事項」を合わせてご覧の上、正しくお使いください。

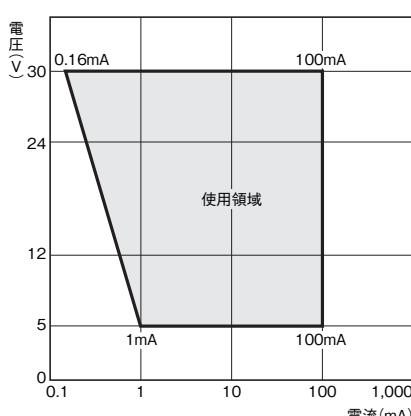
使用上の注意

●取りつけについて

スイッチの取りつけはM2.3ねじを用い、平座金、ばね座金などを使用して、堅固に取りつけてください。
その際の締め付けトルクは0.23~0.26N·mとしてください。

荷タイプを下図のエリア内で使用する場合でも、開閉時に突入電流などが発生する負荷の場合は、接点消耗が激しくなり耐久性の低下を生じる原因となりますので、必要により接点保護回路を挿入してください。

最小適用負荷は、N水準参考値としています。これは信頼水準60% (λ_{60}) での故障水準のレベルを表しています。(JIS C5003)
 $\lambda_{60} = 0.5 \times 10^{-6}/\text{回}$ は信頼水準60%で
 $\frac{1}{2,000,000}$ 回以下の故障が推定されるということを表します。



●配線について

コネクタを取りつけた状態でコネクタおよびリード線に荷重が加わった状態で使用すると、ガタ、接触障害などの恐れがありますので注意してください。

●微小負荷形での使用について

微小負荷回路の開閉時に一般負荷用のスイッチを用いると、接触不良を起こす原因となります。右図を参照し、使用領域の範囲でスイッチを使われることをおすすめします。なお、微小負

日本圧着端子製造株式会社

大阪営業所 TEL: 06(6120)2130(代表)

関東営業所 TEL: 045(543)1271(代表)

名古屋営業所 TEL: 0561(33)0600(代表)

福岡営業所 TEL: 092(413)3100(代表)

宇都宮営業所 TEL: 028(666)1000(代表)